

(2) 上尾伊奈ごみ広域処理事業の経緯

上尾伊奈ごみ広域処理事業の経緯 (1/4)

上尾市西貝塚環境センター

施設	処理能力	稼働開始
焼却施設	300t/日(24h)	平成10年 3月
粗大ごみ処理施設	70t/日(5h)	平成10年 3月
リサイクル施設 空き缶 ペットボトル	4.9t/日 2.5t/日(5h)	平成 8年 9月 平成15年10月

伊奈町クリーンセンター

施設	処理能力	稼働開始
焼却施設	60t/日(16h)	平成元年 4月
粗大ごみ処理施設	25t/日(5h)	平成4年 4月
リサイクル施設 ペットボトル	2.5t/日(5h)	平成4年 4月

稼働開始から20年以上が経過し、後継施設の検討が必要となる

平成30年6月 上尾市伊奈町ごみ処理広域化の推進に関する基本合意書締結

平成30年8月 上尾・伊奈広域ごみ処理協議会 設立

上尾伊奈ごみ広域処理事業の経緯 (2/4)

平成31年4月 候補地選定基準策定

令和元年6～8月
候補地公募の実施

令和 2年3月 候補地抽出

令和 2年3月 候補地評価基準策定

令和2年8月 建設候補地の決定（伊奈町大字小室地内）

上尾・伊奈広域ごみ処理施設
建設候補地評価基準検討会議
（全4回開催）

※令和元年7月設置～令和2年6月廃止

候補地選定基準

表 3.5-2 広域ごみ処理施設の土地利用内訳

施設等	面積等 (m ²)	備考
焼却処理施設	5,300	190 t/日
不燃ごみ・粗大ごみ処理施設	4,100	24 t/日
プラスチック再資源化施設	3,100	87 t/日
計量棟	100	計量器 2 基 (入場用・退場用)
管理棟	700	
洗車場	300	
車庫	700	
構内道路	11,700	幅員 10m
駐車場	4,200	160 台以上
緑地・調整池・災害廃棄物仮置場用地	29,800 (内訳) 緑地 15,000 調整池 14,800 深さ 4.5m	「ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例」に基づく緑地率 25%以上 (15,000m ² 以上) を確保するとともに、「埼玉県雨水流出抑制施設の設置等に関する条例」に基づく調整容量 (約 66,000m ³) *を確保する。
合計	60,000	

※広域ごみ処理施設候補地全体が「埼玉県雨水流出抑制施設の設置等に関する条例」に基づく湛水想定図 1m の区域に位置し、かつ全域を盛土で造成する場合を想定した。この場合、候補地内の調整池では、雨水流出増加行為に対する必要対策量として約 6,000m³、及び湛水想定区域での盛土行為に対する必要対策量として約 60,000m³を合わせて確保する必要がある。

建設候補地の決定について



上尾伊奈ごみ広域処理事業の経緯 (3/4)

令和3年 1月 上尾・伊奈ごみ処理広域化検討会議設置

※令和4年6月廃止

令和4年 2月 上尾市伊奈町広域ごみ処理施設の整備促進に関する
合意書締結

令和4年 3月 上尾・伊奈広域ごみ処理基本計画を策定

令和4年11月 一部事務組合設立について協議

令和4年12月 一部事務組合規約の協議について議会の議決

上尾伊奈ごみ広域処理事業の経緯 (4/4)

令和5年1月 埼玉県に一部事務組合の設立許可申請

令和5年2月 埼玉県から一部事務組合の設立許可

令和5年3月 上尾・伊奈広域ごみ処理協議会 解散

令和5年4月 上尾伊奈資源循環組合 設立

令和5年7月 上尾伊奈資源循環組合
ごみ広域処理施設建設検討委員会設置

残された課題について

- ① プラスチック資源循環促進法を踏まえたプラスチック製品の分別の検討
- ② 粗大ごみの分類、処理費用等の統一
- ③ ビン、紙類・布類等の分別内容や排出方法について、新施設の処理工程や整備内容を踏まえての検討
- ④ 牛乳パック、蛍光管・水銀計・電球、廃乾電池、ライター、小型家電について、リサイクルセンターやストックヤードの有無など詳細を検討
- ⑤ 両市町における安定的かつ効率的な収集体制の検討。
- ⑥ 分別区分の詳細区分の統一
- ⑦ 排出容器のルールが異なる（例：ひもで束ねる、ケースに入れる等）
ごみについて排出容器の統一